

業種別店舗数の推移

卸売業

(単位:千件)

業種 \ 年	昭和47年 (1972年)	昭和57年 (1982年)	平成3年 (1991年)	平成9年 (1997年)	平成14年 (2002年)	平成14年 平成 3年	平成14年 昭和47年
酒類卸売業	2.9	4.3	5.9	4.3	3.7	62.3%	127.3%
米麦卸売業	1.4	1.9	2.8	2.6	2.7	97.5%	197.0%
医薬品卸売業	3.5	6.6	8.4	6.8	5.8	69.1%	164.4%
たばこ卸売業	昭和63年前は調査実施せず		0.9	0.8	0.8	80.6%	-

小売業

(単位:千件)

業種 \ 年	昭和47年 (1972年)	昭和57年 (1982年)	平成3年 (1991年)	平成9年 (1997年)	平成14年 (2002年)	平成14年 平成 3年	平成14年 昭和47年
酒小売業	103	110	107	84	65	61.0%	63.4%
米穀類小売業	40	42	37	29	23	61.0%	56.2%
医薬品小売業	39	50	55	56	63	114.1%	160.7%
たばこ・喫煙具専門小売業	41	45	39	33	31	81.3%	76.5%
食肉小売業	39	41	29	21	17	59.8%	43.7%
鮮魚小売業	56	53	41	30	25	61.9%	45.4%
野菜・果実小売業	65	59	47	35	30	63.9%	45.7%
菓子・パン小売業	189	176	126	93	77	61.0%	40.6%

- (注) 1 商業統計(経済産業省)による。
 2 業種は、日本産業分類による。
 なお、業種区分は、品目別の売上金額が一番多いもので区分されている(酒類の小売が一番多い場合は「酒小売業」に区分されている。)
 3 商業統計調査は、昭和51年までは2年ごとに、昭和54年以降は3年ごとに、平成9年以降は5年ごとに実施している。

(参考:許可等の件数)

(単位:千件)

業種 \ 年	昭和47年 (1972年)	昭和57年 (1982年)	平成3年 (1991年)	平成9年 (1997年)	平成14年 (2002年)	平成14年 平成 3年	平成14年 昭和47年
全酒類卸売免許(許可)	4	13	11	10	9	82.4%	201.9%
医薬品卸売(許可)	データなし	9	12	12	11	96.1%	—
全酒類小売免許(許可)	116	132	131	136	150	114.2%	129.0%
米穀小売(許可 登録)	57	66	91	184	139	153.0%	244.5%
医薬品小売(許可)	37	41	48	57	62	127.8%	164.9%
たばこ販売(指定 許可)	234	260	283	296	307	108.3%	130.9%

- (注) 1 各所管省庁調べ(「たばこ販売」の昭和47年及び57年は、日本たばこ産業(株)調べ)。
 2 米販売業は各年度6月現在、その他は3月末現在の計数。
 3 「全酒類卸売免許場」には、卸・小売兼業の免許場を含む(平成14年度は速報値)。
 4 「医薬品卸売(許可)」欄には、卸売一般販売業(薬剤師がいて、専ら小売店や医療機関等のみに医薬品を販売するもの)の営業許可を受けた店舗数を計上した。
 5 「全酒類小売免許場」は、一般小売及び大型小売業免許の件数であり、卸・小売兼業の免許場は含まない(平成14年度は速報値)。
 6 米穀販売業については、平成7年に許可制から登録制に変更された。なお、小売業者の他に全国で377者の卸売業者がいる(平14年7月現在)。
 7 「医薬品小売(許可)」欄には、薬局(医薬品の調剤及び販売)及び一般販売業(医薬品の販売のみ)の営業許可を受けた店舗数を計上した(いずれも薬剤師が置かれている)。
 なお、その他、薬剤師を置く必要のない「薬種商販売業」が15千件ある(平成14年度)。
 8 たばこ販売業については、昭和60年に専売公社の指定制から国の許可制に変更された。
 9 輸入たばこの卸売は、登録制をとっている。平成14年度末現在の登録卸売業者数は、特定販売業者(輸入業者)162社、その他の卸売販売業者462社である。